

令和8年第1回伊奈町議会（定例会）

発言順	質問議員	質問事項	質問要旨
1	藤原義春 一問一答方式	<p>1 伊奈町の防犯体制と交通事故対策について</p> <p>2 伊奈町立中学校の英語教育について</p>	<p>1 栄2丁目で複数軒に空き巣が入った件に関し、伊奈町の防犯の課題と対策は。</p> <p>2 伊奈町の公民館などのエアコンの室外機が盗まれた件について、防犯カメラ設置等の対策をどう考えるか。</p> <p>3 横断歩道の標識、止まれの標識が薄くて見えなくなっている箇所が多く、交通上の懸念を持っている町民が多いが、この点について認識は。</p> <p>4 カーブミラーがよく見えない、角度がおかしい、といった苦情に対する対応は。</p> <p>5 町民が防犯カメラを取り付けた場合、補助金を出すことも検討してはどうか。</p> <p>6 町の重要箇所には防犯カメラを取り付け、防犯に役立ててはどうか。</p> <p>1 直近3年間の英検3級取得者の人数は。</p> <p>2 直近3年間の英検準2級以上の取得者の人数は。</p> <p>3 オンライン・ブレンディッド授業の実施状況は。</p> <p>4 生徒一人当たり、年間何時間、ネイティブスピーカーと接することになるか。</p> <p>5 生徒の英語力向上のためには、ALTを増やすことが必要と考えるか。</p>
2	川内雅人 一問一答方式	<p>1 農業の維持のために</p> <p>2 ゴみの3Rとゴミ処理について</p>	<p>1 今年度の新規就農者は。</p> <p>2 町内外、個人法人問わず、経営拡大意向のある農家はあるか。</p> <p>3 地目ごとの遊休農地面積は。</p> <p>4 この5年間で販売先の多角化に成功した経営体の事例は。</p> <p>1 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量の推移について町の考えは。</p> <p>2 家庭ごみの資源リサイクル率は。また増減の傾向は。</p> <p>3 粗大ごみのうち、数量の多い上位5種の品目と処理方法の概要は。</p> <p>4 直近5年間のゴミ収集、処理での公務・労働災害の件数と内容は。</p> <p>5 クリーンセンターへの見学実績は。</p>
3	仲島雄大 一問一答方式	<p>1 共同親権制度導入に伴う子供の利益を守る体制整備について</p>	<p>1 町として、共同親権制度導入に伴い子供の利益を最優先に判断するための視点や相談体制整備について現時点でどのように考えているのか、また、今後の方向性を伺う。</p>

3	仲島雄大	2 リチウムイオン電池に起因する火災防止と適正処理体制について	<p>1 相次ぐリチウムイオン電池を起因とする火災や事故について町としてどのような課題と捉え、どの程度のリスクとして認識しているのか伺う。</p> <p>2 環境省の適正処理方針を踏まえ、一般社団法人JBR C会員以外の製品や膨張・変形した電池について、町民が迷わず適切に排出できるためにどのように周知し、回収につなげるかを伺う。</p> <p>3 回収から処理までの一連の工程で、町が特に火災リスクが高いと認識している場面はどこか。また、その場面においてどの点に注意し、どの様な火災防止対策を重点的に講じているのか伺う。</p>
4	大沢淳 一問一答方式	1 障害のある子どもの「18歳の壁」への対応と、家族の就労継続を支える支援体制について	<p>1 障害のある子どもが18歳到達後、高校卒業等により成人向け障害福祉サービスへ移行している人数および推移を把握しているか。</p> <p>2 サービス利用時間の短縮等により、保護者の就労継続に影響が生じている事例について、町として把握しているか。</p> <p>3 成人向け障害福祉サービス終了後の夕方以降の見守りや居場所確保について、町の認識と方針を伺う。あわせて、「青年余暇支援事業」のような余暇・居場所支援について、本町での実施の有無と今後の検討状況を伺う。</p> <p>4 保護者の就労継続を支える観点から、成人向け障害福祉サービスの終了時刻への対応、送迎の工夫、サービスの組み合わせ等について、町としてどのような対応を検討しているか。</p>
		2 聴覚障害者の情報保障と手話通訳者派遣の上尾・伊奈広域化に向けて	<p>1 上尾市との手話通訳者養成講習会の目的と成果は。</p> <p>2 広域化に向けた今後の取り組みは。</p> <p>3 上尾市では救急時に手話通訳の依頼が可能であるが、伊奈町では対応できておらず、聴覚障害者の命にかかわる格差が生じている。消防広域化を踏まえ、上尾市と同等の体制整備を早急に。</p> <p>4 聴覚障害者への情報保障の観点から、新庁舎整備に当たり、手話・字幕付き情報を受信できる「アイドラゴン」の設置を。</p>
5	山野智彦 一問一答方式	1 子ども・子育て支援金制度による公的医療保険料負担増について	<p>1 子ども・子育て支援金制度とは、「年3.6兆円規模のこども・子育て給付金の財源として、年1.3兆円程度を公的医療保険に負担をさせる、その徴収制度の名称」と理解するが、仕組みや内容の概略は。</p> <p>2 国保の県規定水準への引上げと支援金負担の関係は。</p> <p>3 政府の言う実質的な社会保険負担減の効果とは何か。</p> <p>4 政府税収は毎年最高額を更新中。多額の保有現預金等を国は活用すべき。町としての見解は。</p>
		2 町内の買い物環境の向上を	<p>1 要望の多いスーパー誘致の現状と今後の見通しは。</p> <p>2 移動販売について、町内の直近の現状は。</p> <p>3 町として、買い物環境向上に向けたプランは。</p>
		3 脱炭素対策事業の問題点について	<p>1 脱炭素をめざす事業が様々な問題の原因となりうることを町は理解しているか。</p>

5	山野智彦	3 脱炭素対策事業の問題点について	2 町における脱炭素事業は、製造過程や運搬供給網等の二酸化炭素排出も考慮したものとなっているか。
			3 事業用太陽光発電の設備の多くは、建築基準法の対象外となっており、そのことが様々な周辺トラブルの遠因とも指摘されている。この問題に対処すべく、国に法的規制を働きかけると同時に、建築物等への規制や届出を条例化し、一定の管理把握を図る考えはないのか。
			4 再生可能エネルギーの発電施設を悪用したサイバー攻撃が起きているが、町においてそのリスクは十分に検討されているか。特に外国製機器を利用したことによるハッキング等の危険性は考えているか。
6	大野興一 一問一答方式	1 栄六丁目北側田んぼの大規模埋め立てについて	1 事業者・地権者の埋め立ての目的は。
			2 田んぼは大雨の時には、貯留機能があるので洪水に強いといわれるが、伊奈町の田んぼの全体の貯留機能の減少は。
			3 下流の住宅街への洪水対策は。
		2 訪問介護事業者の現状は	1 全国の訪問介護事業者の倒産件数は3年連続で前年を上回っている。伊奈町はどうか。
			2 特に小規模経営の介護事業者に経営支援が必要だと思うが、町の考えは。
			3 介護業界は人手不足で、介護に支障をきたしているというが町の現状は。
		3 教員の休職の現状は	1 2024年度に精神疾患で休職した公立学校教員は7087人。伊奈町の休職者の現状は。
			2 休職者等で欠員が出ているという状況はないか。
			3 欠員の補充はどのように補っているか。
7	栗原恵子 一問一答方式	1 国際交流について	1 伊奈町とブルガリア共和国との交流に至った経緯は。
			2 今後、オンライン交流や情報発信など、比較的早期に着手可能な国際交流施策について、町としてどのような取組を検討しているか。
			3 これらの交流が町のブランド力向上や対外的な認知度に与える効果についてどう思うか。
			4 国際交流を行政主体に限定せず、町内事業者、教育機関、観光分野等と連携して展開していく考えはあるか。
			5 伊奈町にとってブルガリア共和国との交流を、単なる文化的友好交流にとどめるのか、将来の町の価値や魅力を高める戦略的な国際交流と位置づけているのか。今後の基本的な方針は。
		2 県民活動総合センターの活用について	1 県民活動総合センターに対する見直しの提言がされているが、公益財団法人埼玉県国際交流協会と統合または連携しての、国際交流の拠点施設としての活用や、特別支援学校が行う重度心身障がい者の宿泊施設としての活用も含めた県民活動総合センターの活用方法について、町の見解は。
3 AYA世代在宅ターミナルケア支援の予算化について	1 在宅ターミナルケア支援事業を実施している自治体があるが、こうした他自治体の取組について、伊奈町としてどのように認識しているか。		

7	栗原恵子	3 AYA世代在宅ターミナルケア支援の予算化について	<p>2 現状として予算措置が講じられていない理由について、町の認識を伺う。</p> <p>3 これまで予算が計上されてこなかった要因が、財政的制約、制度設計上の課題、あるいは施策の優先順位によるものなのか、町の考えは。</p> <p>4 若年末期がん患者は対象者数が限定的であると考えられるが、本事業を実施した場合の事業規模や財政負担について、町としてどのように見込んでいるか。</p> <p>5 これまでの議会での議論や他自治体の実施状況を踏まえ、若年末期がん患者に対する在宅ターミナルケア支援事業について、次年度当初予算の編成過程において、事業実施の可否を判断し、予算措置を講じる考えがあるのか。また、判断の時期について町の見解は。</p>
8	木俣美千代 一問一答方式	<p>1 不登校児童生徒の健康支援を</p> <p>2 高次脳機能障害者支援法の成立を踏まえた町の支援体制について</p> <p>3 介護業界の人手不足解消へ</p>	<p>1 令和7年度の定期健康診断未受診の児童生徒の人数は。</p> <p>2 不登校児童生徒が医療機関で健康診断を受診する費用の助成制度の見解は。</p> <p>1 高次脳機能障害の現在の周知・理解促進はどのように行われているか。</p> <p>2 高次脳機能障害者支援法の成立を踏まえ町内への周知・理解促進は。</p> <p>3 当事者・家族に向けての相談情報の提供は。</p> <p>4 埼玉県高次脳機能障害者支援センターとの具体的な連携方法をどのように進めていくのか。</p> <p>1 介護施設で資格を必要としない業務を介護職員が担っている現状の把握は。</p> <p>2 介護職員の業務軽減の観点から、無資格者による補助的業務の担い手確保をどのように捉えているか。</p> <p>3 有償ボランティアマッチングサービス「スケッター」のような地域の方が高齢者施設に携わる事の意義と可能性をどのように考えているか。</p>
9	五味雅美 一問一答方式	<p>1 自治体情報システム標準化で町の独自施策を損なわないように</p> <p>2 DXの推進は町民の立場に立って</p> <p>3 中小企業、小規模事業者の賃上げ支援を</p>	<p>1 自治体情報システム標準化の進捗状況は。</p> <p>2 標準化に伴う財政負担は。</p> <p>3 町の独自施策への影響は。</p> <p>1 伊奈町DX推進基本計画より、「第6 DX推進の方向性」で出された課題の取組状況は。</p> <p>2 「第7 DXを取り入れた新庁舎の整備に向けて」で出された課題はクリアされているのか。</p> <p>3 「第8 今後のDX推進方針」の進捗状況は。</p> <p>1 最低賃金引上げで中小企業、小規模事業者の声は。</p> <p>2 賃金引上げに取り組む自治体が出ており、行政が責任を果たすべきと考えるが、見解は。</p>

9	五味雅美	3 中小企業、小規模事業者の賃上げ支援を	3 公契約に賃金条項を盛り込むべきと考えるが、町の見解は。
10	戸張光枝 一問一答方式	1 乳幼児体動モニター（呼吸センサー）の活用と購入支援を	1 家庭内での事故防止や見守り支援、産後ケア事業における安全管理として、現在どのような取組を行っているのか。
			2 公立および私立の保育施設や、産後ケアに関わる現場において、乳幼児体動モニター（呼吸センサー）が睡眠時の観察補助として活用されている実態と課題は。
			3 既存の子育て支援制度の対象範囲を拡大する形で、乳幼児の安全確保に資する機器として体動モニターを加える検討は。
			4 今後、産後ケア事業の充実や、有床助産所の開設なども見据え、乳幼児の「安全・安心」を重視した支援策についてどのように取り組んでいく考えか。
		2 保育士・保健師の人材流出防止と処遇改善による職場定着の推進を	1 保健師・保育士の人材流出の実態と、その要因認識について町の見解は。
			2 突然の人材流出事案が発生した際の業務引継ぎについて、町としてどのような課題や懸念を認識しているのか。
			3 町として、保健師・保育士の処遇について、給料表や各種手当を、どのような考え方で整理・運用しているのか。
			4 保健師・保育士における正規職員と会計年度任用職員の職務・責任・処遇の違いを、町としてどのように整理し、均衡を図っているのか。
			5 専門性の評価における給料表と手当の役割の違い、ならびに保健師・保育士の適切な評価方法について町の見解は。
			6 近隣自治体における保健師・保育士の評価方法の事例把握状況は。
7 保健師・保育士の人材確保および定着を図るため、特殊勤務手当の見直し、給与体系の整理、処遇全体の改善について今後の方針は。			
3 自転車への交通反則通告制度（青切符）の導入を踏まえた障害特性に配慮した交通安全対策の推進を	1 障害特性を有する住民に対し、交通ルールを分かりやすく伝える取組について、本町の現状と今後の方針は。		
	2 警察による取締り時において、内部障害・発達障害の可能性がある場合の配慮や対応について、警察と情報共有・協議の場は。		
	3 町独自に自転車へ貼付できるヘルプマークシールを作成し希望者へ配布する考えは。		
	4 違反の未然防止の観点から、障害特性に応じた交通安全教育教材の作成・配布を行う考えは。		
11	富井篤弥 一問一答方式	1 0～2歳児の保育料無償化を	1 町で0～2歳児の保育料無償化が実現できていない背景や理由を伺う。
			2 町では0～2歳児の保育料無償化について、どのような考えを持っているか。
		2 気候変動の時代でも町民を守る避難所体制を	1 町内の避難所で非常用発電設備がある施設は。
			2 町内の避難所でエアコンが整備されている施設は。

11	富井篤弥	2 気候変動の時代でも町民を守る避難所体制を	3 町内の避難所における今後のエアコン導入の見通しを伺う。
			4 エアコンのある避難所における避難者受け入れの優先順位等はあるか。
		3 町の特定技能制度に関する取組について	1 町内における特定技能所属機関の現状を伺う。
			2 町における「共生社会の実現のために実施する施策」とは何か。
			3 町は、共生施策に対する協力要請について、どのような取組を特定技能所属機関に対し行っているか。
		12	武藤倫雄 一問一答方式
2 ごみ広域処理施設建設計画の予定総額及び伊奈町の負担額と地方債の償還期間はどうか。			
3 都市計画道路上尾伊奈線の整備費用の総額はどうか。			
4 ごみ広域処理施設の年間の管理運営費負担額について現在との差はどうか。			
5 北部地区消防分署新設計画の整備時期と予定総額及び地方債発行の割合はどうか。			
6 ごみ広域処理施設稼働後の現クリーンセンターの土地と施設の取り扱いはどうか。			
7 5年後・10年後・15年後の各時点における上記各計画の財政負担の合計額はどうか。			
2 農地法第4条・第5条の転用許可について	1 農地法の許可について、許可までのプロセスと農業委員会、町、県の所掌内容はどうか。		
	2 直近5年間に転用許可した土地について、許可した内容と現在の土地の利用状況や所有者、借借人が変わっている事例はあるか。		
	3 転用許可後の土地利用や売却について農地法や都市計画法で定めはあるか。		
3 町内の墓地管理と埋葬について	1 墓地、埋葬等に関する法律 第17条の報告項目と報告受理の状況はどうか。		
	2 埋葬許可証の記載事項と許可要件及び発行までの流れはどうか。		
	3 町内墓地への死体の埋葬（土葬）は可能なのか。		
13	高橋まゆみ 一問一答方式		
		2 不在者投票制度の仕組み、周知方法及び課題は。また、問題となった事例はあるのか。	
		3 在外選挙制度の仕組み、周知方法及び課題は。また、問題となった事例はあるのか。	
		4 国民投票と住民投票について、準備や費用の負担についてはどうか。また、必要となる条例の制定についてはどうか。	

13	高橋まゆみ	2 災害時、早期に住民が安心できる環境の整備と維持について	1 各避難所についての環境整備及び収容人数はどうか。
			2 ヘリコプター離着陸の想定はどうか。
			3 車中避難者の駐車スペースと支援物資等の配給方法はどうか。
			4 在宅避難者の安否確認や給水を含め支援物資の配給方法はどうか。
			5 倒壊の危険度は誰がどのように確認するのか。
			6 避難所で発生したごみの管理はどのようにするのか。
			7 災害ごみの想定はどうか。
			8 ボランティアの受け入れについてはどうか。
			9 九都県市合同防災訓練への伊奈町の参加状況はどうか。
14	青木久男 一問一答方式	1 防災対策について	1 災害対策基本法等改正(令和7年6月)の主な要点は何か。
			2 町地域防災計画への反映はどうか。
			3 南部地区対象の総合防災訓練(1月25日実施)の概要を伺う。
			4 この訓練で前回と変わった点は何か。
			5 実施後の反省点や課題は何か。